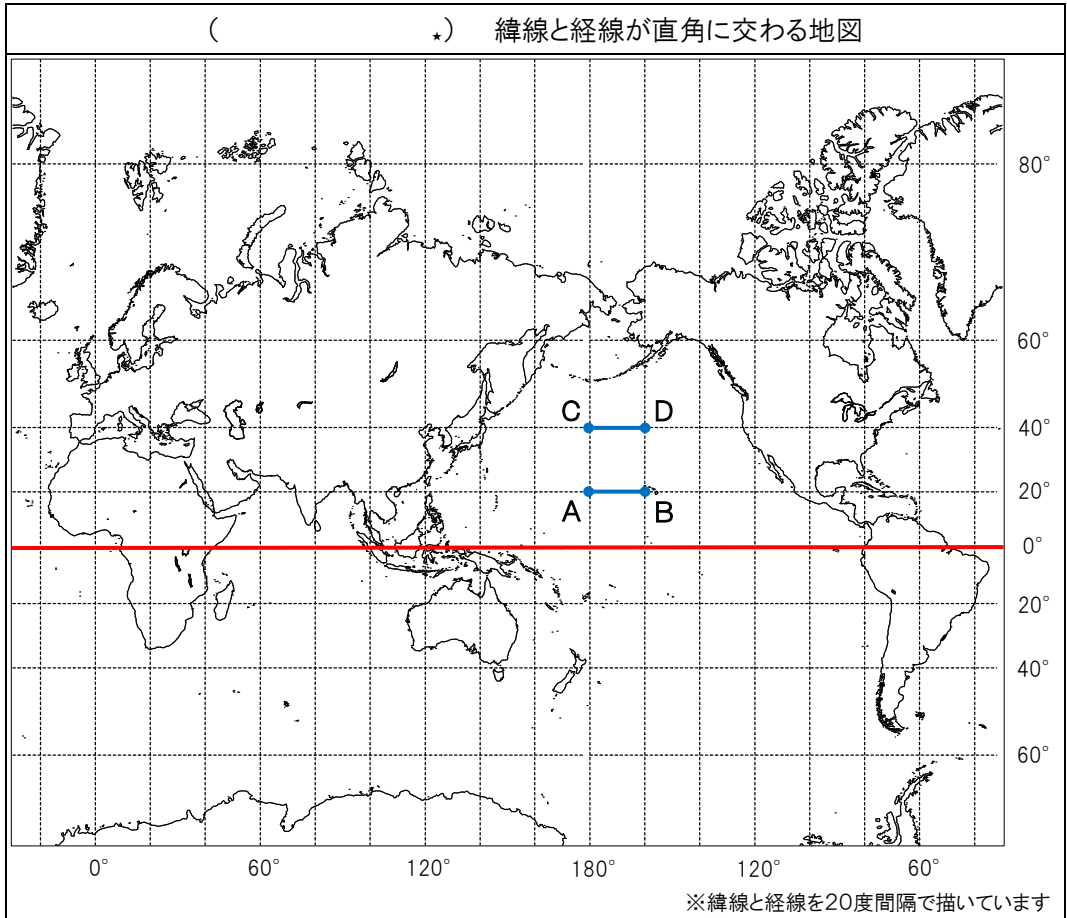


# 4 地球儀と世界地図の違い

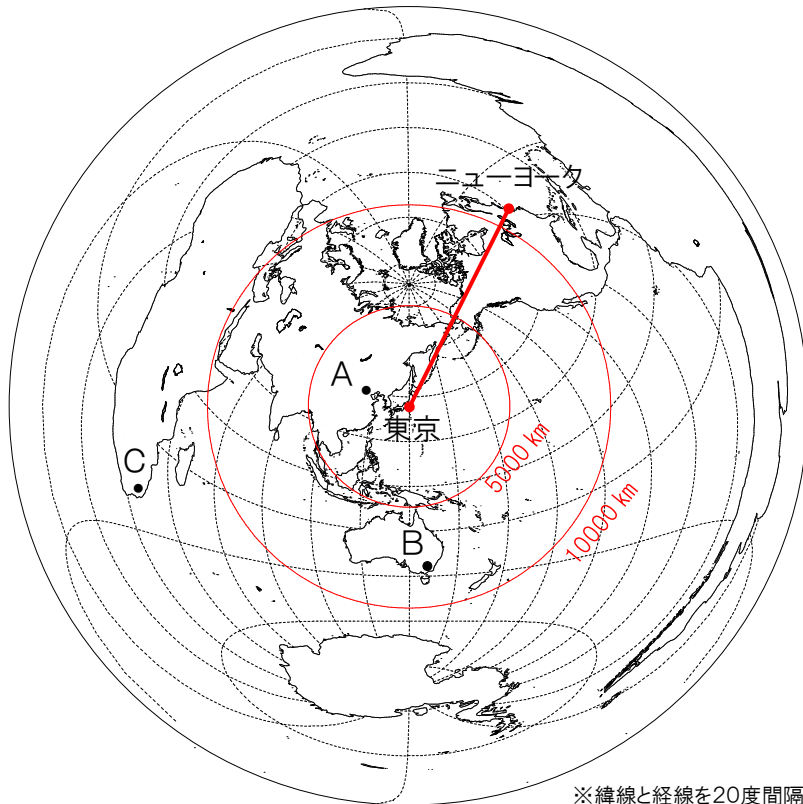
## ○地球儀と世界地図の違い

- ( )とは、地球をそのままの形で縮小した模型のこと  
→地球儀上では、距離や面積・形・方位が正しく表されている
- ( )とは、世界全体を一度にみることができるようにつくられたもの  
→メルカトル図法や正距方位図法、モルワイデ図法などの地図がある



特 徴	<p>緯線と経線が直角に交わる地図</p> <p>2地点の間を結ぶ直線は経線に対して角度が一定 →古くから航海図に利用される</p> <p>高緯度ほど面積や距離、形のゆがみが大きい →地図上の2点間A-BとC-Dの実際の距離は、( )の方が長い</p>
--------	--

( \*\*) 中心からの距離と方位が正しい地図

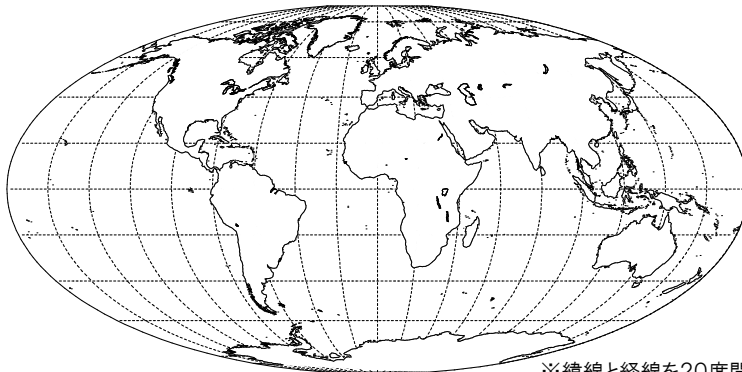


※緯線と経線を20度間隔で描いています

特徴

図の中心から他の地点との距離と方位が正しい  
 地図中の都市A～Cを東京からの距離に近い順に並べると、( → → )  
 東京から見て、ニューヨークは( )にある  
 図の中心と任意の地点間の最短コースが直線で表せる→航空図に利用される  
 外周部分にいくほど陸地のゆがみが大きい

( \*) 面積が正しく表される地図



※緯線と経線を20度間隔で描いています

特徴

面積が正しく表される  
 分布図などに利用される  
 高緯度地方の陸地の形は比較的ゆがみが小さい